|  |
| --- |
| **科研費課題の研究概要**支援申請の元になる科研費研究課題について研究目的（概要）を記入してください（詳細は4ページ以降に記述いただきます）。 |
| **研究目的（概要）** |

|  |
| --- |
| **支援希望内容**「先進ゲノム支援」活動による支援を希望する具体的な内容（支援を希望する内容を、技術別（新規ゲノム、変異解析、修飾/エピゲノム解析、RNA解析、メタ・環境・ホロゲノム解析、超高感度解析、情報解析）にできるだけ具体的に記述してください。また、希望するシーケンサーや、対象とする生物のゲノムサイズ、試料数、検体数、希望するカバレージなど、なるべく定量的にかつその理由について記述をお願いします。なお、原則として、支援依頼内容は単年度で実施可能なものとなるようにしてください） |
|  |
| **支援を希望する理由等**本欄には、①～⑥の項目について２ページ以内で記述してください。 |
| **①科研費研究課題における研究計画に加えて支援を希望する理由****②本支援の結果、科研費研究課題に加えてどのような研究の発展が期待できるのか。そのための研究計画と研究体制****③受託解析サービス等の利用ではなく「先進ゲノム支援」活動による支援を希望する具体的な理由****④ゲノム科学研究としての支援申請内容の先進性と国内外の研究状況****⑤支援を受けるための材料等の準備状況、支援結果活用のための準備状況**（DNA, RNA等の準備状況、得られたシーケンスデータの情報解析の計画、大型ゲノム配列決定を含む場合は研究コミュニティとの連携計画等を記述してください。）**⑥過去に先進ゲノム支援の支援を受けたことがある場合、支援を受けた年度、支援の概要および成果** |
| **支援を希望する理由等（つづき）** |
| **ヒト由来試料の倫理委員会等の手続きについて**本欄には、解析対象がヒト由来試料の場合、倫理委員会における承認手続きが必要となる研究（倫理指針の対象）であるかどうかについて、以下のチェックボックスのうち該当するものにチェックを入れ、必要な情報を記述して下さい。 |
| □ 倫理指針の対象である ⇒ 倫理関連書類チェックシート＊１に記載の上、必要書類を提出して下さい。□ 倫理指針の対象外である ⇒ 以下にその理由及び試料についての情報（入手元情報、使用する試料を特定するカタログ番号等）を記入下さい。 |
| **他国由来の試料への対応状況**本欄には、解析試料が他国から入手した遺伝資源（動物、植物、微生物及びその一部（DNA抽出物含む））の場合、入手した国（以後提供国と呼ぶ）の生物多様性条約及び名古屋議定書に基づく国内法令等に則って取得したものであるかどうかについて、以下の該当するものにチェックを入れ、必要な情報及び試料についての情報（提供国、生物種、試料の種類等）を記述して下さい。 |
| □ 解析試料は他国由来の遺伝資源を含まない ⇒ 以下の記入は不要です。□ 提供国の国内法令等に則って取得したものである ⇒ 入手手続き及び試料情報を記入下さい。□ 提供国の国内法令等の対象外である ⇒ 対象外となる理由（生物多様性条約発効日1993年12月29日以前に取得あるいは国内に入っていたものである、など）及び試料情報を記入ください。□ わからない ⇒ 試料の情報を記入ください。試料についての情報： |

＊1）倫理関連書類チェックシートは、先進ゲノム支援ウェブサイト「最新情報」2018年度支援課題公募のお知らせ、あるいは「支援申請ログインホーム」よりダウンロードください。

|  |
| --- |
| **科研費課題の研究目的**　支援申請の元になる科研費研究課題について、研究目的を2ページ以内で記入してください（当該研究計画調書内容そのままでも結構です。支援希望内容ではありません）。 |
| ①研究の学術的背景②研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか③当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義 |
| **科研費課題の研究目的（つづき）** |

|  |
| --- |
| **研究業績**（発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について１ページ以内で記入してください。） |
|  |